

CULTURE 結成10周年・吹田市発ロックバンド「SHE'S」 ドラマ主題歌など活躍中

吹田市発のピアノロックバンドSHE'S(シーズ)の活躍が目覚ましい。SHE'Sは2011年に井上さんらが高校卒業と同時に結成、2016年にメジャーデビュー。ボーカル兼キーボードの井上竜馬さんのピアノをメインに据えたバンドで、メンバーは他に広瀬臣吾さん(ベース)、服部菜汰さん(ギター)、木村雅人さん(ドラム)の4人だ。

近年だとテレビCMのタイアップも多いほか、残念ながら中止となってしまった昨年のセンバツ高校野球のテーマソングにもなっていた。今年は2月17日にリリースした6thシングル「追い風」が、現在放送中のドラマ「青のSP(スクールポリス)ー学校内警察・嶋田隆平」の主題歌に採用されて話題になっている。

今年ちょうど結成10周年でありメジャーデビュー5周年。記念すべき年のキックオフ公演として、2月末には吹田市のメイシアターで、十分なコロナ対策を実施した上で、ライブを予定している(2月中旬時



左から木村雅人さん、広瀬臣吾さん、井上竜馬さん、服部菜汰さん。SHE'S 10th Anniversary「Back In Blue」の関西公演は5月8日・大阪城音楽堂。

点)。今年の元旦に公開したYouTubeでは「合唱、観劇、成人式など、幾度となく訪れたメイシアターでライブができる」「中学の時にいつかここでライブがしたいと思っていた」など語っていた。

今年5月から6月末にかけてはアニバーサリーツアーとしてSHE'S 10th Anniversary「Back In Blue」を開催し、自身初となる大阪城音楽堂の単独ライブの開催も。今後も活躍が期待される地元アーティストに注目したい。

SOCIAL 箕面市の飲食店コロナ支援で 65歳以上にワンコイン弁当

箕面市社会福祉協議会が、高齢者の健康と地元の飲食店を応援するために持ち帰り弁当パンフレット「もみじ500」の取り組みを始めた。65歳以上の高齢者などを対象に、市内36店舗の飲食店で500円(税込み)弁当を販売。高齢者の外出の機会が増え、飲食店にも新たな客が来るなど良い効果を生み出している。

同社協では、以前から地域の見守り活動として地元商店や事業所が加盟する「よりそい隊」を募集している。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて、高齢者への支援をきっかけに地元飲食店への呼びかけを実施。よりそい隊の趣旨に賛同するカフェや和食、焼き肉店など市内36店舗が参加し、昨年末から各店舗でオリジナルの弁当を販売している。

基本的に65歳以上に向けたもので、メニューや詳細は公共施設などに設置されたパンフレットに記載されている。店舗によって、前日予約やパンフレット持参が購入



飲食店で弁当を受け取る利用者

条件の場合もある。また年齢問わず購入できる店や宅配できる店も。

始めて2か月半。担当者によると「多数の問い合わせをいただいております。店舗を順番に回っているという方も聞きました。お店の方で『常連のお客が増えた』と喜んでいただいているところもあります」と反響は上々。3月末までの予定だったが、継続を検討しているという。「緊急事態宣言があって、お店の方も苦勞されている中、頑張っていることを知っていただければ。また、高齢の方は身体を動かしたり、人と会う機会も減っているようです。買い物や散歩は必要ですので、積極的に利用してください」と話す。パンフレットは同社協のウェブサイトでも閲覧できる。問い合わせは箕面市社会福祉協議会(072-749-1575)

SOCIAL コロナに関する給付、助成金など改正や新たに始まった支援制度も

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた個人や事業者への支援について、国が現在も継続的に実施している。

コロナ禍の長期化で雇用情勢が悪化している一方、支援金などの制度については周知不足が指摘されている。

主な支援を確認するとともに、新たに始まったものや改正したものなど再度確認する。

■ 個人向け 生活を支えるための支援(一部)

【休業支援金・給付金の大企業の非正規雇用労働者の取扱い等について】

[新たに対象となる労働者] 大企業に雇用されるシフト労働者等であって、事業主が休業させ、休業手当を受け取っていない方

[対象となる休業期間及び支給額]

令和3年1月8日以降の休業	休業前賃金の80%
令和2年4月1日から6月30日までの休業	休業前賃金の60%

※中小企業の労働者も引き続き実施

支援金など	対象者	支給内容
緊急小口資金総合支援資金	休業や失業などで生活資金に困っている人	緊急小口資金:10万円以内、場合によっては20万円以内 総合支援資金:2人以上月20万円以内、単身15万円以内 ※いずれも貸付だが、条件によっては返済が免除に
住居確保給付金	離職・廃業後2年以内、もしくはそれと同等程度まで収入が減少している人	原則3か月(最長12か月)、家賃額を給付 ※3か月の再支給が可能に
公共職業訓練(離職者訓練)	ハローワークに求職の申し込みをしている、失業給付を受給しているなど	無料で職業訓練が受講可
求職者支援訓練	上記の条件のうち、失業給付を受けられない人	同上。かつ月10万円の受講手当などの給付金
その他支援	生活困窮者自立支援制度	様々な課題を抱え生活に困窮する人
相談窓口	特別労働相談窓口	解雇、雇止め、休業手当などの労働相談をしたい人
	行政相談の窓口	どの行政機関に相談すればいいかわからない人

※詳細は各ホームページを確認

企業の思い切った事業再構築を支援する「中小企業等事業再構築促進事業」が始まる 総予算1兆1,485億円

中小企業庁は、本年度3次補正予算として「中小企業等事業再構築促進事業」(予算額1兆1,485億円)を発表。新分野展開や業態転換、事業再編など思い切った事業再構築を行う企業を支援する。

指針や公募要項は、公募開始と同時に発表する予定という。詳細は経済産業省のホームページなどで確認を。

【中小企業等事業再構築促進事業のイメージ】

【喫茶店経営】

飲食スペースを縮小し、新たにコーヒー豆や焼き菓子のテイクアウト販売を実施

【居酒屋】

オンライン専用の注文サービスを開始し、宅配や持ち帰りの需要に対応

【弁当販売】

高齢者向けの食事宅配事業を開始し、地域の高齢化へのニーズに対応

【ヨガ教室】

室内での密を回避するため、オンライン形式での教室運営を開始

【和菓子製造・販売】

和菓子の製造過程で生成される成分を活用した、化粧品の製造・販売を開始

※経済産業省「事業再構築補助金のリーフレット」から一部抜粋 ※公募は3月中を予定

コラム
COLUMN

フカボリ調査

2033年度事業完了に向け始動中 摂津市駅付近「開かずの踏切」高架化の現状

2018年7月号では摂津市駅の「開かずの踏切」について紹介しました。連続立体交差事業として測量・調査は着々と進んでいます。開かずの踏切を頻繁に通る編集部としては、現状が気になるどころ。そこで摂津市 建設部 連続立体交差推進課にお聞きしました。

現在着手しているのは事業用地の取得。

高架化にあたり、環境側道と呼ばれる側道をつくる必要があるそう。「これは近隣の日当たりの確保や騒音などの影響を軽減するために設けます。そのため高架化する線路沿いの土地を取得する必要があります」と摂津市の担当者。また、工事中も電車が走れるよう、仮線路の工事も行われるようです。「工事中も鉄道の運行を止めることはできま

せん。高架化の前に、仮線路を作る必要があります。まずは摂津市駅の東側から仮線路の工事がはじまる予定です。それに向けて重点的に用地取得が進んでいる状況です」。

2018年6月18日に発生した大阪北部地震では、摂津市駅周辺の踏切が全て封鎖され、救助に向かう救急車が通れないという事態に陥ったそうです。「この出来事



建物の取り壊しが順次行われています。

で、連続立体交差事業の重要性が再認識されました。災害に強いまちづくりという意味でも、摂津市駅周辺の高架化は重要な事業になりそうですね。